

『紡ぐ』

2020.5. / 第3号

発行 教育相談室「あした塾」

日本、時間が ゆくり進む町

春の夕水。街中にもあちこち、諸橋、甲の川上、唐福など、こんな桜の多い町はたしかに驚く（？）位ある所に桜の花が咲いていました。車でサーッと通り過ぎるにはもったいない風景です。海とは言えば、そのロケーションのせいもあって、まるで湖であるかのようなゆたかな水面です。



(小又川・「しらべまはし」から)

テレビ番組で能登の地を訪（諸橋・明泉寺前）いたタレントさんが海を見ながら「能登は本当に時間がゆくり流れているね。」と話していました。以前、能登半島地震で夕水へボランティアに来た人と話したとき「夕水は時間がゆくり過ぎていくみたい。」と話していました。おまけに金沢から来た人も「夕水は時間



(旧のと鉄道・甲駅)

間がゆくり過ぎていて、人もせわせわしていない。」と話していました。口をそろえたように、こんな話が出ます。

『日本、時間がゆくり進む町』を帯りに何うどうでしょう!? そのために、大事になるのは「おもてなし」です。

「夕水に行きたい!」「おれ、夕水に行きたい!」「夕水でゆくり過ごしたい!」と思ってしまうおもてなしです。

たとえば商店街。大型店ではできないおもてなし。それは、会話があたり、お茶菓子があたり、おまけがあたり、何よりも訪れた人へ安心でき、ほっこりできる笑顔があたり。

「待ち」ではなく挑戦的な町づくりへ、アイデアをいっぱい



(旧のと鉄道・中居駅)



(野並集落)



(旧上甲小中学校)

出していかないといいと思います。

実現するためには、おまけは、アイデアをいっぱい出してやることです。

(連日、テレビも新聞も新型コロナウイルスの報道ばかり。いよいよみんな乗り越えるしかありません。)

投稿

潮騒林道 標識を新しく

潮騒林道には、植物の標識がいくつもありました。平成8年に穴水町の「山野草の会」の方のご尽力で、今はたき山牧先生と共に調査し、設置されたものです。当時の町教育委員会が予算化して実現したとのこと。その標識が、やはり傷んでいました。付け替えるべく町教育委員会にお願いしています。



(オオイワカガミ)



(シユンラン)

潮騒の道、そして潮騒林道を歩く方々に、植物をより身近に感じていただき、親に接してほしいという思いがあります。ほんとは「能登の山を歩く会」の穴水町のメンバーの皆さんと一緒に新しい標識に替えたいと考えています。(川島・池上・悟)

議員さん頑張ってます

船頭多くして(?)



「船頭多くして、船、山に上る。いやいですよね。何とも不思議な光景ですが、どんな使い方をしているのでしょうか。」

新型エロサウリスの対策、やはりと迷走気味。「船頭多くして...」の類に付いていないことを願います。

前号で議員活動の様子を町民の皆さんに知らせる取り組みをしている2人の議員さんのことを記事にしました。その後さらに2人の議員さんが一部地域ではあります。この1年間の活動を振り返っての様子や、新たな気持ちで活動していく決意などを町民の皆さんに知らせる取り組みをしていることになりました。ご意見をいただいた議員さんを含め、これで5人の議員さんの活動や考えを町民の皆さんに知らせたいことになります。とても、素晴らしいことですね。今後に期待です。(希望により氏名は読みません。)



(さくら馬場の一木松)

投稿情報を

「しんぶん『さくら』」への投稿や情報提供をお願いします。ジャンルは問いません。「おんぼろ穴水町のことを考えよう」という主旨を始めた新聞です。ぜひ、お願いします。(7キイ)

電話 56-1151, 52 FAX 56-1152